

川崎市黒川青少年野外活動センター 令和7年度事業進捗状況

1 令和7年度利用目標

利用目標：利用者数 29,100 名

- (1) 主催事業の広報を積極的に行い、誘致活動を行います。
 (2) 利用が少ない平日に、利用する団体を増やすことで利用者数を増やします。

2 令和7年度利用状況（令和7年4月～12月）

(1) 利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年度	日帰り	665	1,491	1,297	725	1,171	569	780	1,160	1,199	9,057
	宿泊延べ	385	401	332	787	849	218	227	550	688	4,437
令和6年度	日帰り	1,033	1,667	1,037	983	525	556	1,010	948	958	8,717
	宿泊延べ	549	492	629	576	691	761	172	574	530	4,974
対令和6年度比	日帰り	-368	-176	260	-258	646	13	-230	212	241	340
	宿泊延べ	-164	-91	-297	211	158	-543	55	-24	158	-537
令和5年度	日帰り	1,020	1,462	1,179	842	752	794	853	1,080	915	8,897
	宿泊延べ	363	209	266	770	921	326	422	499	508	4,284
対令和5年度比	日帰り	-355	29	118	-117	419	-225	-73	80	284	160
	宿泊延べ	22	192	66	17	-72	-108	-195	51	180	153

(2) 利用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年度	日帰り	36	44	46	41	38	31	39	54	52	381
	宿泊延べ	9	6	8	12	11	5	4	12	10	77
令和6年度	日帰り	46	53	44	42	22	31	54	52	45	389
	宿泊延べ	11	7	9	11	12	11	5	8	8	82
対令和6年度比	日帰り	-10	-9	2	-1	16	0	-15	2	7	-8
	宿泊延べ	-2	-1	-1	1	-1	-6	-1	4	2	-5
令和5年度	日帰り	44	59	58	46	34	41	48	57	58	445
	宿泊延べ	8	6	5	11	18	7	7	8	8	78
対令和5年度比	日帰り	-8	-15	-12	-5	4	-10	-9	-3	-6	-64
	宿泊延べ	1	0	3	1	-7	-2	-3	4	2	-1

(3) 対令和6年度比における主な増減要因

- ・11, 12月は利用者数が回復した。
- ・要因として、過ごしやすい季節になった結果、規模の大きい団体の利用が増えたこと。主催事業の募集に対し、多くの参加者が集まったことが挙げられる。
- ・団体数も微増傾向にあり、11, 12月は火を使う活動が実施しやすくなることから、少しずつ回復していくと思われる。

3 令和7年度主催事業等の実施状況（令和11月～令和8年3月）

※令和8年2月及び3月は実施予定です

（1）主な主催事業

事業名	新規 継続	実施日	実施回数	事業内容	定員	参加者数
冒険クラブ	継続	11/2～3、11/24	2回	テント泊、野外炊事及び屋台村	20名	21名
ネイチャーボランティア	継続	11/9、12/7、 1/11、2/1、3/1	3回（残り2回）	里山保全のための整備活動	30名	各回5～8名
ぱばまま自然遊び	継続	11/21、12/5、 2/20、3/13	4回（残り2回）	平日に未就学の子どもとその親を対象に自然遊びを行う。	20名程度	40名、37名
オールナイト焚き火カフェ	継続	11/28～29	1回	宿泊をしつつ、焚き火カフェを行う。	20名程度	25名
しめ縄飾り作り	継続	12/14	1回	しめ縄飾りを作る。	100名	158名
デイキャンプ冬	継続	1/12	1回	焚き火をテーマにデイキャンプを行う	20名	31名
味噌仕込み	継続	2/13、14	2回	味噌仕込みを行う	40名	
自然体験フェスティバル	継続	3/8	1回	センターで行っているプログラムを体験できる祭りを行う	500名	

（2）主な主催事業において工夫した点・評価・課題等

- ・定員を超える応募があった事業に関しては、スタッフ数を増やすなどの対応を行い、可能な限り参加者を受け入れた。
- ・新規事業であるぱばまま自然遊びは、平日開催にもかかわらず、多くの参加者が集まった。

（3）その他事業報告

- ・受託事業として、白鳥保育園のドラム缶ピザ、はるひ野・栗木台・片平小学校の里山保全授業、ベネッセ学童クラブの染め物、など、多くの団体からの指導を請け負った。

4 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月

5 課題への取組及び今後（令和8年度以降）の事業展開

- ・利用者の少ない平日に、より多くの利用者を集められるよう、団体の誘致や主催事業を実施していく。
- ・里山の保全をテーマに、環境を未来につなげるための保全活動を続けていく。
- ・常連団体においては、申請書記入のための窓口への来所が負担となっている側面があるため、オンラインでの申請書提出を試験実施中である。

川崎市黒川青少年野外活動センター 令和8年度事業計画案

1 令和8年度利用目標

利用目標：利用者数 29,100 名

- (1) 主催事業の広報を積極的に行い、誘致活動を行います。
- (2) 利用が少ない平日に、利用する団体を増やすことで、利用者数を増やします。

2 令和8年度主催事業計画

(1) 主な主催事業

事業名	新規, 継続	実施月	実施回数	事業内容
ぱばまま自然遊び	継続	4, 5, 8, 11, 12月	5回	平日に未就学の親子を対象に、自然遊びを行います。ドラム缶ピザやクラフトなど、対象と時期に合わせて自然遊びの内容が変化します。
流しそうめん	継続	8月	2回	夏休み期間に、流しそうめんイベントを開催します。
花火開放日	継続	8月	3回	夏休み期間の夜に、花火ができるよう、グラウンドを開放します。
GW ドラム缶ピザ	継続	5月	3回	ゴールデンウィーク期間に、ドラム缶ピザ事業を行います。
冒険クラブ	継続	5~11月	6回	小学4~6年生を対象に、1年間同じメンバーで活動します。野外炊事やテント設営など、野外活動のためのスキルを学びます。
焚き火カフェ	継続	4, 5, 10月	3回	平日の夜に、グラウンドを開放し、焚き火ができるイベントを開催します。焚き火が初めての人でも、職員のレクチャーがあるので、安心して参加できます。
味噌仕込み体験	継続	2月	2回	伝統的な味噌仕込みを行います。

(2) 主な主催事業において工夫する点・課題等

- ・プログラム内容の精査を行い、物価高に伴う参加費の変動や、食材の選別など、より適した形での運営を行う。
- ・チラシやSNSを活用した、積極的な広報を行う。

(3) その他計画している事業

- ・大人のための珈琲焙煎講座、デイキャンプ春夏秋冬、のあそびくらぶ、自然体験フェスティバル

3 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月
変電設備交換	屋上	キュービクルの交換	1月
工作・厨房棟工事	工作・厨房棟	電気の交換・壁紙の張り直し	9月～
雨どいネット設置	建物全域	落ち葉防止ネットをかける	9月～

4 主な課題への取組

- ・引き続き里山保全のため、枯死した木の伐採やその利活用、再生のための植樹などを実施していく。

川崎市青少年の家 令和7年度事業進捗状況

1 令和7年度利用目標

利用目標：利用者数（日帰り+宿泊延べ人数）34,000人の達成

（1）新規利用団体の誘致

構成団体川崎市スポーツ協会の地域ネットワークを活かし、学校及びスポーツ少年団・子ども会等と連携します。

（2）広報・利用案内業務の強化

小中学校へ事業のチラシ配布や川崎市の施設や教育施設等に広報誌を設置し、本施設の広報・利用案内の強化を行います。

宮前区地域教育会議、宮崎中学校区地域教育会議、平間中学校地域教育会議に出向き、近隣の学校関係者へ青少年の家の利用を促し、地域に根差した施設を目指します。

（3）主催事業の拡充

構成団体川崎市スポーツ協会の市内ネットワークを活用し、主催事業を展開し、パラスポーツ（ボッチャ等）を発信していきます。

（4）施設の安全性の確保（防災拠点としての公共施設活用）

普段から地域住民の方々とコミュニケーションを図り、開かれた施設運営を行うことで、災害の際に相互を助け合う共助の関係づくりを行います。

（5）継続利用者のニーズ把握

継続利用者のニーズ把握の為、アンケート結果に基づくセルフモニタリングを実施します。他類似施設の事業内容と比較検証することで、主催事業の更なる充実を図ります。

（6）施設経年劣化への適切な修繕の実施

築年数が30年以上を経過し、経年劣化が顕著になり始めた本施設に対して、計画性をもって適切に実施します。

2 令和7年度利用状況（令和7年4月～12月）

（1）利用者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年度	日帰り	799	1,187	1,756	1,404	1,786	1,275	1,296	1,273	1,199	11,975
	宿泊延べ	1,225	1,383	1,117	3,232	3,830	1,482	2,005	1,461	1,065	16,800
令和6年度	日帰り	748	993	1,533	1,318	1,387	1,249	1,136	1,288	1,033	10,685
	宿泊延べ	1,331	1,058	1,378	3,425	3,697	1,943	1,379	1,498	1,148	16,857
対令和6年度比	日帰り	51	194	223	86	399	26	160	-15	166	1,290
	宿泊延べ	-106	325	-261	-193	133	-461	626	-37	-83	-57
令和5年度	日帰り	848	1,099	1,318	1,603	1,122	920	1,338	1,343	1,273	10,864
	宿泊延べ	1,379	1,439	568	2,439	3,712	1,260	969	1,276	1,181	14,223
対令和5年度比	日帰り	-49	88	438	-199	664	355	-42	-70	-74	1,111
	宿泊延べ	-154	-56	549	793	118	222	1,036	185	-116	2,577

（2）利用団体数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
令和7年度	日帰り	45	65	65	50	55	54	60	62	48	504
	宿泊延べ	21	23	20	40	59	23	20	28	14	248
令和6年度	日帰り	39	60	60	53	51	52	65	64	52	496
	宿泊延べ	21	21	19	47	51	31	24	28	17	259
対令和6年度比	日帰り	6	5	5	-3	4	2	-5	-2	-4	8
	宿泊延べ	0	2	1	-7	8	-8	-4	0	-3	-11
令和5年度	日帰り	47	61	56	63	47	54	70	65	54	517
	宿泊延べ	22	16	9	37	54	22	20	18	23	221
対令和5年度比	日帰り	-2	4	9	-13	8	0	-10	-3	-6	-13
	宿泊延べ	-1	7	11	3	5	1	0	10	-9	27

（3）対令和6年度比における主な増減要因

- ・4月～12月の累計では宿泊延べ人数及び宿泊団体数で対令和6年度比減だったが、日帰り利用が利用人数及び団体数とも大幅に増となった。
- ・特に8月と10月の利用が大幅に増加しており、客室及び活動室の効率の良い受入れが利用者増につながっている。
- ・コロナ前から利用いただいていた大型の団体利用が戻ってきていることが大きな要因として考えられる。

3 令和7年度主催事業等の実施状況（令和7年11月～令和8年3月）

※令和8年2月及び3月は実施予定です

(1) 主な主催事業

事業名	新規, 継続	実施日	実施 回数	事業内容	定員	参加 者数
健康体操&ヨガ	新規	火曜日	12回	初心者も簡単なストレッチやヨガなど	15名	58名
サーキットエアロ	継続	水曜日	12回	音楽に合わせたリズムミカルなトレーニングなど	15名	75名
ノルディックウォーキング	継続	金曜日	12回	専用のポールを使用したウォーキングなど	15名	77名
おはなし会	継続	火曜日	4回	講師による手遊びや紙芝居など	20名	12名
ベビーマッサージ& 親子ヨガ体験教室	継続	木曜日	4回	成長を促すマッサージや産後ヨガなど	20名	21名
のびのびくらぶ（みつばクラス）	継続	水曜日	4回	自然散策やおやつ作りなど	20名	5名
のびのびくらぶ（よつばクラス）	継続	水曜日	4回	火起こし体験やクラフトなど	20名	56名
幼児体操教室	継続	月曜日	3回	とび箱やトランポリンを使用した運動など	20名	32名
親子ふれあい動物園	継続	3月12日	1回	小動物のエサやり体験など	100名	
チャレンジ体験クラブ	継続	日曜日	2回	パラスポーツ体験やハイキングなど	40名	120名
手作り体験クラブ	継続	日曜日	2回	宿泊体験や野外炊事など	40名	133名
ほのぼのスクール	継続	10月28日 ～11月1日	1回	青少年の家から学校へ通う通学型合宿	40名	31名
英語教室	継続	水曜日	12回	絵や写真を使用した 楽しく学べる英語体験	20名	188名
スプリングキャンプ	継続	3月31日 ～4月1日	1回	野外炊事やスポーツレクリエーションなど	40名	
新春キャンプ	新規	1月5日 ～6日	1回	お雑煮づくりやかるた取りなど	40名	53名
親子手打ちうどん教室	継続	2月15日	1回	粉から本格的なうどんを作る	30名	
スキー教室	継続	12月23日 ～25日	1回	インストラクター指導の下で 2泊3日のスキー体験	40名	46名

おもしろ実験教室	継続	11月2日 2月8日	2回	テレイドスコープや静電気の実験など	30名	21名
星空観察教室	継続	3月3日	1回	皆既月食の観察など	20名	
青少年の家フェスタ	継続	3月8日	1回	地域団体による出店や成果発表など	1000名	
ユースワーカーズ倶楽部	継続	金曜日 土曜日	10回	主催事業のサポートや 地域イベントへの出店など	15名	52名
シニアサポーターズクラブ	継続	火曜日	16回	主催事業のサポートや 卓球による交流など	20名	167名
和太鼓ワークショップ	継続	1月10日	1回	和太鼓の演奏や体験など	20名	48名

(2) 主な主催事業において工夫した点・評価・課題等

- ・地域の喫茶店やコンビニエンスストアを中心に、新規で主催事業のチラシを配架、掲示してもらうことができ、青少年の家の名前を浸透させることができた。
- ・人気のある1泊2日のキャンプ事業を開催し、安定した人数を集客することができた。
- ・スキー教室の集客について、昨年より幅広く広報を行ったことで、多くの参加者を集めることができた。

4 施設設備・管理に関する対応（令和7年11月～令和8年3月）

※令和7年2月及び3月は実施予定です

件名	場所	内容	実施月
アップライトピアノ譜面台修理	B1 音楽室	譜面台の劣化修理	11月
誘導灯設備工事 バッテリーの交換	宿泊棟2階階段	経年劣化によるバッテリー不良	12月
換気扇・照明系統ブレーカー絶縁不良調査	客室107-112号	ブレーカー絶縁不良調査	1月
貯湯槽補給水バルブ グランドパッキング交換	B1 機械室	経年劣化による漏水	2月予定
屋上エア抜き弁交換	宿泊棟屋上	経年劣化	2月予定
照明設備工事	客室107号	ブレーカー絶縁不良調査の結果 漏電判明	2月予定
冷蔵機器凝縮器洗浄及びエアフィルター交換	食堂厨房	経年劣化	2月予定
食器消毒保管庫のドア交換作業	食堂厨房	ドアの経年劣化	2月予定

5 課題への取組及び今後（令和8年度以降）の事業展開

- ・幼児向け事業の参加者が低迷しているため、各講師と協力し幅広い広報に取り組みたい。
- ・年度当初に予定していた日程から急遽変更することがあったため、日程の打ち合わせにつ

いてより綿密に行う必要がある。

川崎市青少年の家 令和8年度事業計画案

1 令和8年度利用目標

利用目標:利用者数(日帰り+宿泊延べ人数)38,000人の達成

(1) 広報・利用案内業務強化による新規利用団体の誘致と継続利用者の確保

- ・構成団体川崎市スポーツ協会の地域ネットワークを活かし、学校及びスポーツ少年団・子ども会等と連携します。又、高校の合宿誘致ができるように市立橘高校と連携します。
- ・小中学校へ事業のチラシ配布や川崎市の施設や教育施設等に広報誌を設置し、本施設の広報・利用案内の強化を行います。
- ・宮前区地域教育会議、宮崎中学校区地域教育会議、平間中学校地域教育会議に出向き、近隣の学校関係者へ青少年の家の利用を促し、地域に根差した施設を目指します。また、SNS媒体を活用した情報発信についても検討します。

(2) 主催事業の拡充と利用者ニーズの把握

- ・構成団体川崎市スポーツ協会の市内ネットワークを活用し、主催事業を展開し、パラスポーツ(ボッチャ等)を発信していきます。

(3) 予約支払方法拡充による施設利用者利便性の向上

- ・オンライン予約とキャッシュレス決済が一体となったシステムを導入することで、施設利用者の予約手段と支払方法を拡充し、利便性の向上に努めます。

(4) 地域防災強化のための地域連携等の取組み

普段から地域住民の方々とコミュニケーションを図り、開かれた施設運営を行うことで、災害の際にお互いを助け合う共助の関係づくりを行います。

(5) 施設長寿命化のための適切な修繕の実施

築年数が30年以上を経過し、経年劣化が顕著になり始めた本施設に対して、計画性をもって適切に実施します。

2 令和8年度主催事業計画

(1) 主な主催事業

事業名	新規,継続	実施月	実施回数	事業内容
健康体操&ヨガ	新規	4月～2月	32回	初心者も簡単なストレッチやヨガなど
サーキットエアロ	継続	4月～2月	30回	音楽に合わせたリズミカルなトレーニングなど
ノルディックウォーキング	継続	4月～2月	30回	専用のポールを使用したウォーキングなど
おはなし会	継続	4月～2月	9回	講師による手遊びや紙芝居など
産後親子ヨガ教室	新規	4月～2月	9回	成長を促すマッサージや産後ヨガなど
のびのびくらぶ(みつばクラス)	継続	4月～2月	10回	自然散策やおやつ作りなど
のびのびくらぶ(よつばクラス)	継続	4月～2月	10回	火起こし体験やクラフトなど
幼児体操教室	継続	5月～2月	8回	とび箱やトランポリンを使用した運動など
親子水遊び	継続	8月	3回	水位を低くしたプールで水遊び
親子ふれあい動物園	継続	3月	1回	小動物のエサやり体験など
チャレンジ体験クラブ	継続	5月～1月	6回	パラスポーツ体験やハイキングなど

手作り体験クラブ	継続	5月～2月	6回	宿泊体験や野外炊事など
ほのぼのスクール	継続	10月～11月	1回	青少年の家から学校へ通う通学型合宿
英語教室	継続	5月～3月	30回	絵や写真を使用した英語体験
おもしろ実験教室	継続	6月,11月,2月	3回	錯覚や静電気を利用した実験など
星空観察教室	継続	10月,11月	2回	季節に応じた星の観察など
プール開放	継続	7月,8月	6回	高津区・宮前区在住の小学生向けに開放
サマーキャンプ	継続	7月,8月	1回	野外炊事やプール遊びなど
八ヶ岳キャンプ	継続	9月	1回	BBQ や星空観察、登山など
オータムキャンプ	継続	10月	1回	野外炊事やスポーツレクリエーションなど
新春キャンプ	新規	1月	1回	お雑煮づくりやかかるた取りなど
スプリングキャンプ	継続	3月	1回	野外炊事やお花見など
親子手打ちうどん教室	継続	6月,11月,2月	3回	粉から本格的な手打ちうどんを作る
親子ピザ作り	継続	12月	1回	段ボールでオープンを作りピザを焼く
スキー教室	継続	12月	1回	インストラクター指導の下でスキー体験
青少年の家フェスタ	継続	3月	1回	地域団体の出店や成果発表など
ユースワーカーズ倶楽部	継続	4月～3月	26回	主催事業のサポートや地域イベントへの出店など
シニアサポーターズクラブ	継続	4月～3月	37回	主催事業のサポートや卓球の交流など
和太鼓ワークショップ	新規	1月	1回	和太鼓体験会

(2) 主な主催事業において工夫する点・課題等

- ・青少年の家の知名度を上げ、幼児向け事業への集客を増やすために、チラシ等の配架場所をさらに増やせるようにする。
- ・参加者のニーズにより応えるため、アンケート調査や聞き込みなどを行い、状況に応じて新規事業も計画したい。

(3) その他計画している事業

- ・中学校等の職場体験を積極的に受け入れる。

3 施設設備・管理に関する対応

件名	場所	内容	実施月
フレキ配管交換作業	地下1階	浴室循環配管フレキ配管交換作業	9月
ボールタップ交換作業	地下1階	発電機冷却水槽ボールタップ交換作業	9月

4 主な課題への取組

- ・参加者との関わりをより深め、事業のレベルを上げられるようアンケートなどを積極的に行う。
- ・SNS を適切に利用して青少年の家の知名度を高め、来客数の増加を図る。
- ・一般団体からも地域の情報を伺い、可能な限り広範囲に広報をかけられるようにする。